

19 教職員としての資質と実践的指導力

第3期プラン 2-(1)-ア

(3) 学級経営

学級は、幼児児童生徒が学校園生活の大半の時間を過ごす基本的な集団であり、学習指導や生活指導を進める基礎的な場である。

学級担任は、心の通い合う学級経営を基盤に、児童会・生徒会活動や学校行事等の集団活動を通して、望ましい人間関係の形成、自主的・実践的な態度、健全な生活態度の育成に努める。

令和4年度 重点実践事項

- 一人一人の個性をいかした計画的な学級経営の実践
- 主体的に考え、課題解決を図る実践的な学級活動等の実施

実践目標

1

安心して学べる環境をつくる



重点! ① 計画的な学級経営の実践 全

学校園の教育目標に基づき、幼児児童生徒一人一人の個性をいかした計画的な学級経営に努める。

② 安心できる学級づくり 全

幼児児童生徒の達成感や自己有用感を高め、学級が共感的で安心できる居場所となるよう、一人一人の個性を十分に理解し、それぞれが活躍できる機会をつくるなどの工夫する。また、養護教諭やスクールカウンセラー・キャンパスカウンセラー等と協力し、幼児児童生徒の心のケアの充実に努める。

③ 教育的愛情に基づいた子どもとの関わり 全

学級は幼児児童生徒の人格形成に関わる場であるという認識に立ち、生活背景や内面の理解に努め、日常的に声かけをするなど、温かくゆとりのある心で接するよう努める。

④ 教室等の環境整備 全

教室等の環境を清潔で潤いのある空間として整え、幼児児童生徒が気持ちよく学習活動等に取り組み、安心して過ごせるように工夫する。また、「学校の新しい生活様式」に基づき、感染症の感染及び拡大のリスクを低減する環境づくりに努める。

実践目標

2

集団活動を通して
自主性・自律性を育む



重点! ① 自主性の育成 全

学級活動・ホームルーム活動や児童会・生徒会活動、学校行事等を通して、自他の違いを互いに認め合い、支え合いながら、自ら課題を見つけて解決しようとする自主的・実践的な態度を育む。

② 自律性の育成 全

規律正しい態度で授業や行事等に参加し、主体的に活動できる集団づくり等を通じて、自律性と責任感を身に付け、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育む。

実践目標

3

組織的に対応する



重点! ① 情報の共有と多角的・多面的な理解 全

幼児児童生徒の小さな変化を敏感に察知し、全ての教職員が「チームとしての学校」の視点に立ち、情報交換や連携を密にしながら、多角的・多面的な理解に基づいて組織的に指導する。

② 幼児児童生徒・保護者からの相談への対応 全

幼児児童生徒や保護者からの相談等に対しては、その気持ちを真摯に受け止め、管理職や他の教職員と連携しつつ、共に考える姿勢で対応する。

「安心できる学級づくり」に向けた取組

◆「いじめ未然防止プログラム」を活用した学級づくり

児童生徒に下図のような資質・能力を育むことをねらいとして、学校での実践において活用できる「授業プラン」や「特別活動プラン」を収録しており、解説動画も視聴できます。いじめの未然防止のための取組は、児童生徒が安心できる居場所づくりにつながります。

自分を大切に 大切にする	他者との 関係	集団での 生活
① ストレスマネジメント能力	④ 思いやり・他者理解	⑦ 仲間づくり・絆づくり
② セルフコントロール能力	⑤ コミュニケーション能力	⑧ 自治集団づくり
③ 自尊感情・自己効力感	⑥ 思いや考えの表現力	⑨ 規律性
		⑩ 道徳性
		⑪ 相談・支援を求める力

また、下図のようなリーダーチャートが作成できるアンケートツール「CoCoLo-34」を活用することで、これらの資質・能力の実態把握にいかすことができます。

本プログラムを学級経営にぜひご活用ください。



◆「いじめ未然防止プログラム」

県立教育研修所Webページよりダウンロードして活用することができます。



2

子どもたちの学びを支える環境の充実